

2025年5月15日

各 位

株式会社サイバーエージェント
代表取締役 代表執行役員 社長 藤田 晋
(コード番号: 4751 東証プライム市場)
問合せ先 IR・SR 室長 宮川 園子
連絡先 03-5459-0227

**(訂正・数値データ訂正)「2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について**

当社は、2024年7月31日付で開示いたしました「2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容及び理由

訂正の内容及び理由につきましては、別途、本日(2025年5月15日)付「過年度有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日
東

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所
コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 代表執行役員 社長 (氏名) 藤田 晋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 中山 豪 (TEL) 03-5459-0202
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	597,485	11.8	34,833	100.4	35,858	100.6	14,726	539.1	19,830	111.0
2023年9月期第3四半期	534,397	0.1	17,383	△68.3	17,877	△67.6	2,304	△88.3	9,398	△67.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年9月期第3四半期	29.09		26.75	
2023年9月期第3四半期	4.55		4.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本	自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	492,195	240,488	149,012	30.3
2023年9月期	475,222	228,450	140,961	29.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年 9 月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年 9 月期	—	0.00	—		
2024年 9 月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	790,000	9.8	41,000	83.4	41,000	80.5	16,500	366.1	32.59	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	506,282,800株	2023年9月期	506,191,200株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	1,048株	2023年9月期	1,040株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	506,244,255株	2023年9月期3Q	506,018,346株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、インターネット広告市場やゲーム市場の成長を取り込みつつ、中長期の柱にすべくテレビのイノベーションをコンセプトに、いつでもどこでも繋がる社会インフラを目指す新しい未来のテレビ「ABEMA」への投資を継続し、当第3四半期連結累計期間における売上高は597,485百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は34,833百万円（前年同期比100.4%増）、経常利益は35,858百万円（前年同期比100.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,726百万円（前年同期比539.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①メディア事業

メディア事業には、「ABEMA」、「WINTICKET」等が属しております。

新しい未来のテレビ「ABEMA」関連事業が好調に推移し、売上高は125,885百万円（前年同期比25.4%増）、営業損益は489百万円の損失計上（前年同期間12,394百万円の損失計上）となりました。

②インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、AI事業本部等が属しております。

売上高が過去最高を更新し、売上高は323,740百万円（前年同期比7.7%増）、営業損益は16,454百万円の利益計上（前年同期比25.0%増）となりました。

③ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)Colorful Palette、(株)QualiArts、(株)サムザップ、(株)アプリボット等が属しております。

新規タイトルが貢献し、売上高は151,070百万円（前年同期比10.4%増）、営業損益は26,844百万円の利益計上（前年同期比32.5%増）となりました。

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は1,095百万円（前年同期比57.6%減）、営業損益は1,326百万円の損失計上（前年同期間1,446百万円の利益計上）となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)マクアケ、(株)リアルゲイト等が属しており、売上高は23,307百万円（前年同期比8.4%増）、営業損益は498百万円の利益計上（前年同期比34.8%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は492,195百万円（前連結会計年度末比16,972百万円の増加）となりました。これは、主に売上高の増加に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

負債は251,706百万円（前連結会計年度末比4,934百万円の増加）となりました。これは、主に売上高の増加に伴う未払法人税等の増加によるものであります。

純資産は240,488百万円（前連結会計年度末比12,038百万円の増加）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月1日に公表した連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2024年7月31日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	199,579	206,055
受取手形、売掛金及び契約資産	81,199	79,695
棚卸資産	8,977	10,715
営業投資有価証券	19,034	16,877
その他	39,679	41,832
貸倒引当金	△489	△377
流動資産合計	347,980	354,799
固定資産		
有形固定資産	24,586	27,318
無形固定資産		
のれん	7,084	6,750
その他	26,473	28,194
無形固定資産合計	33,557	34,944
投資その他の資産		
その他	69,110	75,163
貸倒引当金	△77	△83
投資その他の資産合計	69,033	75,080
固定資産合計	127,177	137,343
繰延資産	64	52
資産合計	475,222	492,195
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,597	70,282
短期借入金	3,142	600
未払法人税等	3,115	6,844
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	20,027
その他	56,364	58,510
流動負債合計	134,219	156,265
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	60,584	40,461
長期借入金	43,355	45,048
勤続慰労引当金	3,401	3,452
資産除去債務	2,406	2,624
その他	2,803	3,853
固定負債合計	112,552	95,441
負債合計	246,772	251,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,369	7,416
資本剰余金	12,218	12,275
利益剰余金	113,986	121,147
自己株式	△1	△1
株主資本合計	133,572	140,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,196	7,768
為替換算調整勘定	191	406
その他の包括利益累計額合計	7,388	8,175
新株予約権	2,092	2,510
非支配株主持分	85,396	88,965
純資産合計	228,450	240,488
負債純資産合計	475,222	492,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	534,397	597,485
売上原価	392,517	433,973
売上総利益	141,879	163,512
販売費及び一般管理費	124,496	128,678
営業利益	17,383	34,833
営業外収益		
受取利息	134	228
受取配当金	371	377
為替差益	—	380
受取賃貸料	377	467
その他	238	316
営業外収益合計	1,121	1,770
営業外費用		
支払利息	69	171
減価償却費	126	145
持分法による投資損失	—	137
その他	431	290
営業外費用合計	627	745
経常利益	17,877	35,858
特別利益		
投資有価証券売却益	—	77
事業譲渡益	100	117
その他	1,355	115
特別利益合計	1,455	310
特別損失		
減損損失	578	3,354
事業撤退損	55	1,758
その他	935	503
特別損失合計	1,570	5,615
税金等調整前四半期純利益	17,761	30,553
法人税、住民税及び事業税	9,519	12,126
法人税等調整額	1,048	△864
法人税等合計	10,568	11,262
四半期純利益	7,193	19,291
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,889	4,564
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,304	14,726

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	7,193	19,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,318	341
為替換算調整勘定	19	176
持分法適用会社に対する持分相当額	△133	20
その他の包括利益合計	2,204	538
四半期包括利益	9,398	19,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,945	15,513
非支配株主に係る四半期包括利益	5,452	4,316

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益(注2)	94,216	282,657	136,544	2,586	18,392	534,397	—	534,397
(1) 外部顧客への売上高	94,216	282,657	136,544	2,586	18,392	534,397	—	534,397
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,193	18,015	263	—	3,103	27,576	△27,576	—
計	100,409	300,672	136,808	2,586	21,496	561,973	△27,576	534,397
セグメント利益又は損失 (△)	△12,394	13,166	20,253	1,446	369	22,841	△5,458	17,383

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,458百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「インターネット広告」、「ゲーム」、「その他」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下及びサービスの廃止等により当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

インターネット広告	250百万円
ゲーム	293百万円
その他	33百万円
合計	578百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高 顧客との契約から生じる 収益(注2)	118,739	307,543	150,763	1,095	19,342	597,485	—	597,485
(1) 外部顧客への売上高	118,739	307,543	150,763	1,095	19,342	597,485	—	597,485
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,146	16,196	306	—	3,964	27,614	△27,614	—
計	125,885	323,740	151,070	1,095	23,307	625,099	△27,614	597,485
セグメント利益又は損失 (△)	△489	16,454	26,844	△1,326	498	41,981	△7,147	34,833

(注) 1. セグメント利益の調整額△7,147百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「メディア」、「インターネット広告」、「ゲーム」、「全社」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下及びサービスの廃止等により当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

メディア	123百万円
インターネット広告	262百万円
ゲーム	2,968百万円
全社	0百万円
合計	3,354百万円

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却額	5,910百万円	8,379百万円
のれんの償却額	237百万円	334百万円

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2024年6月26日開催の取締役会において、㈱ニトロプラス（以下ニトロプラス）の株式を取得し、連結子会社化することを決議し、2024年6月26日付で株式譲渡契約書を締結いたしました。当該株式譲渡契約に基づき、当社は2024年7月1日付で当該株式を取得しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社ニトロプラス
事業の内容	ゲームの企画・開発・販売 アニメ・3DCGなど映像制作における企画・デザイン・開発・制作・編集 作品世界観など企画(原案・脚本・設定)・デザイン・編集・開発・制作 キャラクターグッズの企画・開発・販売 書籍およびCD・DVDの企画・制作・販売 各種ライセンス提供

(2) 企業結合を行った主な理由

ニトロプラスは「刀剣乱舞」をはじめゲーム・アニメ・小説・イラストなど幅広いジャンルでコンテンツ制作を手掛けています。

昨今、日本のみならず世界において、メディアミックス戦略を中心としたIP（知的財産）ビジネスは成長市場となっており、当社においても新しい未来のテレビ「ABEMA」を中心に事業展開し、2021年12月に藤井道人氏をはじめとする気鋭のクリエイターが所属するコンテンツスタジオ㈱BABEL LABEL、2023年6月には、2.5次元ミュージカルにおいてトップランナーである舞台制作会社㈱ネルケプランニングが当社のグループ入りを果たすなど、積極的に参入している分野です。このような背景の元、インターネット領域で幅広くエンターテインメントビジネスを展開し、テクノロジーとクリエイティブの融合で世界を目指す当社と、IPビジネスにおいて世界展開を目指すニトロプラスとの親和性の高さから、当社グループへの参画に至りました。

(3) 企業結合日

2024年7月1日（株式取得日）

2024年8月31日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称
変更はありません。

(6) 取得した議決権比率
72.5%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠
当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	16,683百万円
取得原価		16,683百万円

なお、取得関連費用等につきましては、現時点では確定していないため取得原価に含めておりません。

3. 主要な取得関連費用の内訳及び金額
取得関連費用等（概算額）20百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳
現時点では確定しておりません。